

特別講演会

Rocco RANTE 博士

(ルーブル美術館 / MAFOUB)



主催： 京都大学人文科学研究所
龍谷大学龍谷ミュージアム

日時： 9月7日 午後4時より

会場： 龍谷大学龍谷ミュージアム
(京都市下京区堀川通正面下る 西本願寺前)

聴講無料 使用言語 英語 (通訳無)

Settlement Dynamics in the Bukhara Oases and the Birth of the North-Eastern Path of the Silk Road

講演要旨：

The lecture focuses on the dynamics of human occupations ensuing from the hydrographic changes in the oasis of Bukhara, since the Neolithic to the Medieval period, and on the evolution of settlements relating with water resources. The recent geo-archaeological researches realized by the Archaeological French-Uzbek Mission in the Bukhara Oasis, under the aegis of the Louvre Museum, brought to light and dated the whole network of paleochannels of the oasis. In this context, an important increase of urbanization has been observed since the first centuries of our era, not only determining changes on human behavior, but also changes on trade customs, which have been studied in a historical point of view.

講演者紹介：

Rocco RANTE 博士はイラン考古学の専門家で、2005年から2008年までフランス・イラン研究所の研究員をつとめ、2008年以降ルーブル美術館に所属して考古美術研究に従事しておられます。RANTE 博士は2000年から2004年までイスファハン金曜モスクの考古学調査に参加、2006年、2007年にはイランの古都市レイの発掘を行い、2009年以降はブハラ・オアシスでのフランス・ウズベキスタン共同考古学調査団 (MAFOUB/ Mission Archéologique Franco-Ouzbèke dans l'Oasis de Boukhara) のフランス隊隊長として発掘を主導しておられます。ブハラ・オアシスにおける調査の概要は <http://mafoub.com> にて順次報告されており、RANTE 博士の主要著作目録も同サイトに掲載されています。今回は真道洋子先生の共同研究プロジェクト「イスラーム地域における物質文化史の比較研究～イベリア半島から中央アジアまで～」(科研費：基盤B) のために来日されますが、京都でも講演を行っていただけることとなりました。みなさまのご来場をおまちしております。

問い合わせ先：

京都大学人文科学研究所稲葉研究室

(075-753-6968)

龍谷大学龍谷ミュージアム学芸室

(075-351-2592)